

岸近くでも貧酸素水塊が見られます。

東京湾溶存酸素情報

神奈川県水産技術センター

2010/09/17 号外

漁業調査船うしおにより調査を実施しました。

通常の調査とは、場所や水深が異なります。

○水深の浅い場所

富岡地先（水深 8 m）、

金沢地先（水深 8 m）、

でも調査を行いました。

○水色はやや悪いものの、赤潮はみられません。

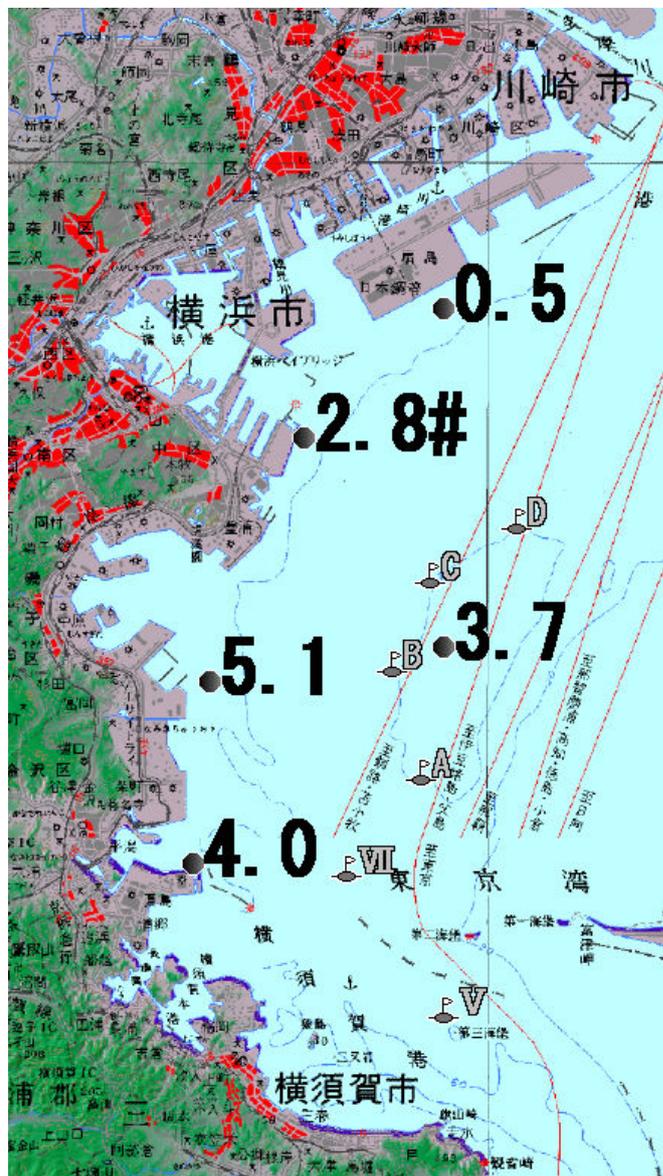
○水温は、表層で 25~26℃ 台、底層では 20~26℃ 台です。

○塩分は、表層で 20~28 台、底層では 29 台~34 です。

○扇島地先の底層、本牧地先の中層で貧酸素水塊（ $\leq 2.5\text{ml/l}$ ）がみられました。

○金沢地先は、八景島脇のアナゴの活け場の近くです。

酸素は底層まで十分にありましたが、水温は高く塩分が低い状態です。



底層の溶存酸素量 (ml/l)

(数値の後の、#は中層貧酸素を示します。)

発行 神奈川県水産技術センター
資源環境部

電話 046(882)2313

表層の塩分が低めです。

表層と底層の水温差もあります。

漁獲物の取り扱いにご注意下さい。